

会 議 録

1	会議名称	令和2年度 第3回 宝達志水町地域公共交通協議会
2	会議日時	令和2年11月10日（火）午前10時～午前11時
3	出席委員	<p>宝達志水町区長会 副会長 山本修</p> <p>宝達志水町老人クラブ連合会 会長 新田伸吉</p> <p>宝達志水町民生・児童委員協議会 副会長 細川松夫</p> <p>宝達志水町健康づくり推進員 会長 松田文江</p> <p>宝達志水町社会福祉協議会 事務局長 下次勇</p> <p>宝達志水町商工会 会長 市村昭代史</p> <p>宝達志水町立宝達志水病院 事務局長 松田英世</p> <p>西日本旅客鉄道株式会社七尾鉄道部 部長 伊豫拓也</p> <p>(株)敷浪タクシー 代表取締役 源野正和</p> <p>北陸信越運輸局交通政策部交通企画課 課長 佐々木凜太郎</p> <p>北陸信越運輸局石川運輸支局 首席運輸企画専門官 木村幸典</p> <p>石川県企画振興部新幹線・交通対策監室 課長補佐 福野陽子</p> <p>金沢大学 名誉教授 高山純一</p> <p>羽咋警察署交通課 課長 山崎孝志</p> <p>石川県羽咋土木事務所維持管理課 課長 細川彰仁</p> <p>宝達志水町副町長 高下栄次</p> <p>宝達志水町総務課 課長 村井仁志</p> <p>宝達志水町健康福祉課 課長 一家剛</p> <p>宝達志水町地域整備課 課長 藤本清司</p> <p>宝達志水町学校教育課 課長 岡田正人</p> <p>宝達志水町生涯学習課 課長 坂井賢 【計：20名】</p>
4	事務局	(企画振興課) 安達大治課長、岡野秀紀課長補佐、田上諭史主任
5	議 事	<p>1 会長あいさつ</p> <p>本日は第3回協議会であるが、今年度は1～2回目は書面協議となったため、対面での会議は初めてである。本会議は、町における公共交通のあり方について意見を伺うことを趣旨としている。本年度から来年度にかけて、町の公共交通のマスタープランを策定する予定であり、その内容について本協議会で審議することとなる。なお、本協議会の副会長は、公共交通の専門家である金沢大学の高山名誉教授にお願いしている。今日はよろしく願いいたします。</p> <p>2 議事案件</p> <p>(1) 地域公共交通網形成計画について</p> <p>(2) 宝達志水町地域公共交通協議会設置に至る経緯について</p> <p>(3) 策定に向けてのスケジュール</p> <p>(4) コミュニティバスおよびデマンドタクシーの現状について</p>

(5) 町民へのアンケート調査について

(上記1～5について事務局より一括して説明した後、質疑応答)

【質疑応答】

勝二委員：アンケートについて、年齢層の分析は出来るのか？高校生から高齢者まで幅広く調査するとのことだが、実際は公共交通の利用は高齢者が多くなると思われ、そうした年齢別の分析は可能か。

事務局：御指摘のとおり、年齢別に移動実態が違ふと思われ、そうした年齢別の分析は可能である。

市村委員：否定的な意見かも知れないが、これだけのアンケートでどれだけの回収ができるか疑問に思っている。デマンドタクシーもコミュニティバスも高齢者の利用が多いと思っており、そういう方々を中心に考えた時にこのアンケートが妥当なのか疑問である。

事務局：デマンドタクシーやコミュニティバスだけでなく、交通全体のマスタープランとして策定する目的で、アンケートについても幅広く答えていただくこととしている。

下次委員：自動運転について検討をされている自治体もあるようだが、(本町でも)将来的には考えないのか。

事務局：奥能登で自動運転の実験を行っていることは承知しているが、ハードルが高いことなども聞いており、当面は難しいとは感じているが、今後の検討課題とさせていただきたい。

細川委員：交通のマスタープランを作るということで、当町独自の計画を目指すのだと思うが、近隣の他市町はどういう形で公共交通を考えているのか、資料を集めて見る必要があるのではないか。

事務局：他の多くの自治体で公共交通に関する計画を策定している。運輸局やコンサルと相談の上、資料を収集した上で適切なマスタープランを策定していきたい。

林委員：これまでも(町が実施した)様々なアンケートを回答したが、まったく意見が反映されていないものもあった。せつかくこれだけのアンケートを実施するので、その結果を踏まえしっかりと方向付けをして頂きたい。

また、運転免許返納の状況及び返納の理由を教えて頂きたい。返納される本人は運転できると思っているものの、家族が止めるという人もいるのではないか。

事務局：アンケートはできるだけ多く回収できるように、その内容を計画に反映出来るように努めたい。

村井委員：免許返納については、年間 20 名前後の返納があり、その方に商品券またはデマンドタクシー利用券をお渡ししている。御指摘のようにご家族の懸念があつて返納という方も、本人による自主的な返納もいらっしゃる。

林委員：トータルでどれぐらいの方が返納されているか。

村井委員：手持ちで資料を持ち合わせていないので、また調べてお知らせしたい。

木村委員：本町においてはデマンドタクシーを早い段階からスタートされており、当局としては好事例として認識している。その後、デマンドタクシーの補完のため無料のコミュニティバスを運行されているが、デマンドタクシーとコミュニティバスの関係性が当初の絵姿と違った形になっていると思われるため、そのあり方についてこの場で議論頂ければと思う。

細川委員：アンケートにおいて、バス停の位置の改善やバス停整備の具体的な要望などが調査項目として挙げられているので、そのようなバス停の変更に関しては早めに道路管理者に具体的な相談をしていただければ、当方も検討することができる。

佐々木委員：この「地域公共交通網形成計画」の制度は、国から各自治体に策定をお願いしているところである。きれいな計画を作ることも大事だが、この協議会の中で現状の課題を出しながら意見を賜りながら進めていくことが大事である。計画について協議会で承認をとった以上は、役場も交通事業者もその計画にのっとった事業を実施することになるし、住民もその計画の内容を受け入れるということになるので、計画策定期間中にしっかり意見を出して頂きたい。

公共交通の現状に関する資料で、コミュニティバスの現状を見ると、利用者数が増えている要因として宝達志水病院の開院が挙げられているが、よくデータを見ると宝達志水病院における乗降者数よりも、利用者数の増加数が多くなっているため、増加した理由は宝達志水病院以外にあるのではないか。

また、デマンドタクシーについては、年間登録者数が 376 人という事業を町民がどう評価するかを考えていただければ。行政負担が一定かかっている中で、もっと利用される必要があるのかどうか、どのように役割分担をしていくのかも議論いただきたい。

A4 の論点を示した資料が今後の議論の要点と思うが、ここに示された観点について皆様からの議論をお願いしたい。論点 1 で「デマンドタクシーを軸としながら」という記載がある。一方で現在のコミュニティバスをどうするのか、という観点があればよい。コミュ

ニティバスの運行形態が現状から変更されるのか変更されないのか、によって皆さんの見方・イメージも変わってくる。また、論点2にも関連するが、特定ニーズのためのバス活用という話の中でも、コミュニティバスを今後どのようにするのかという論点がある。

移動ニーズに対する交通手段のという役割分担が出来ればと思う。デマンドタクシーの利用者1人当たり経費700円は悪くない数字だと思うが、一方で無料コミュニティバスがあるので、うまく役割が整理できればと思う。

高山副会長：公共交通に関するマスタープランを策定するにあたり、まず交通実態がどのようになっているかを捉える必要があり、そのためのパーソントリップ調査となっている。小さな町なので5,000戸の全戸配布が可能なのだと思うが、町民がしっかり書いて頂ければ、この地域の方が日頃どのような生活活動をしているのかが、実態として捉えられる。町民が公共交通を本当に必要としているかどうか分かる重要な調査であり、町民がその重要性を認識して書いて頂けるかがまず前提条件である。

その上で、実態が分かってそれでおしまいではなく、その実態に合わせてこの地域の公共交通をどのように体系づけるのか。自動車に乗れる人ばかりなら良いが、免許を取れない・持っていない方や免許証を自主返納した方、いわゆる交通弱者は公共交通を利用するか送迎に頼るしかないため、その方達の移動を今後どのように考えて行くかが大事であり、マスタープランは5年先、さらにその先を見越して計画を作る必要がある。現状ではコミュニティバスとデマンドタクシー、JR、一般のタクシーもある中で、それらを住民がどのように利用しているかを把握することができる。

コミュニティバスはスクールバスの空き時間を活用しており、(別途車両を調達することなく)運行委託費だけで運営出来ているし、デマンドタクシーもこの比較的適正な金額で委託されているとは思っているが、これらを今後どうするかは難しい課題かと思う。便利な公共交通があるということは、その地域が豊かだといえる。普段は自動車だが、何かあったときに地域の装置としての公共交通を確保していくことが行政の役割として大事である。

質問として、デマンドタクシーが13便となっているが、各ルートとも本数は一緒なのか、需要に合わせて本数を変えているのか。コミュニティバスのルートとデマンドタクシーのルートがかなり重複しているが、コミュニティバスは1往復なので時間帯も限られ、バスの運行がない時間帯はデマンドタクシーを利用されているのだと思うが、それに対する要望・不満は役場に寄せられているのか、住民の声を吸い上げる仕組みがあるのか。

	<p>アンケート調査票に、町民1人当たりの運行経費がかかっていることは書いてあるが、コミュニティバスとデマンドタクシーは分けて書いたほうが良い。どれぐらいの経費が使われているのかが町民に知られていないのが町民の不平不満のもとになるので、実態分析に書いている情報は出しては如何か。</p> <p>事務局：コミュニティバス、デマンドタクシーのどちらも敷浪タクシーに運行を委託しており、住民の声については源野委員に説明をお願いしたい。</p> <p>住民の声の把握については、日曜日の運行がないことについてたまに要望があるが、それ以外の利用に関する要望は把握できていない。把握する仕組みが足りてない可能性や、高齢者が中心なので声が上がりにくいのかも知れない。</p> <p>源野委員：デマンド13便は全ルートとも公平な形で運行しているが、乗車人数が多いルート・少ないルートがあるので、これからマスタープランの策定にあたって、運行形態をこれから考えて行くこととなると認識している。</p> <p>利用者の声については、時間が合わないので乗れない、バスに乗りたいが時間が合わないで行きはタクシー、帰りはバスと自由に選択している方もいる。要望は頂いているので、町と相談しながら、我々のできることは変えていこうと努力している。バス停についても、利用実績などを勘案して、またバス停の改廃や移設などについて声として挙がっており、それは年度ごとに変更してきている。そのように生の声は出来るだけ反映できるように努力していきたい。アンケートについては、自分で書けない方もいらっしゃるが、デマンドタクシーの車内に持ってこられることもある。利用者で対応できないことは我々もお手伝いしながらやっていきたい。</p> <p>事務局：御指摘いただいたアンケートの修正を施した上で調査を実施し、次回3月にお集まりいただいて議論を賜りたい。</p> <p style="text-align: right;">閉 会</p>
6 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度 第3回 宝達志水町地域公共交通協議会 次第 ・宝達志水町地域公共交通協議会委員名簿 ・地域公共交通網形成計画について ・宝達志水町地域公共交通協議会設置に至る経緯について ・策定に向けてのスケジュール ・宝達志水町の交通に関するアンケート調査 ・宝達志水町の公共交通の現状（コミュニティバス、デマンドタクシー） ・宝達志水町における公共交通の方向性